

平成 30 年 1 月 17 日

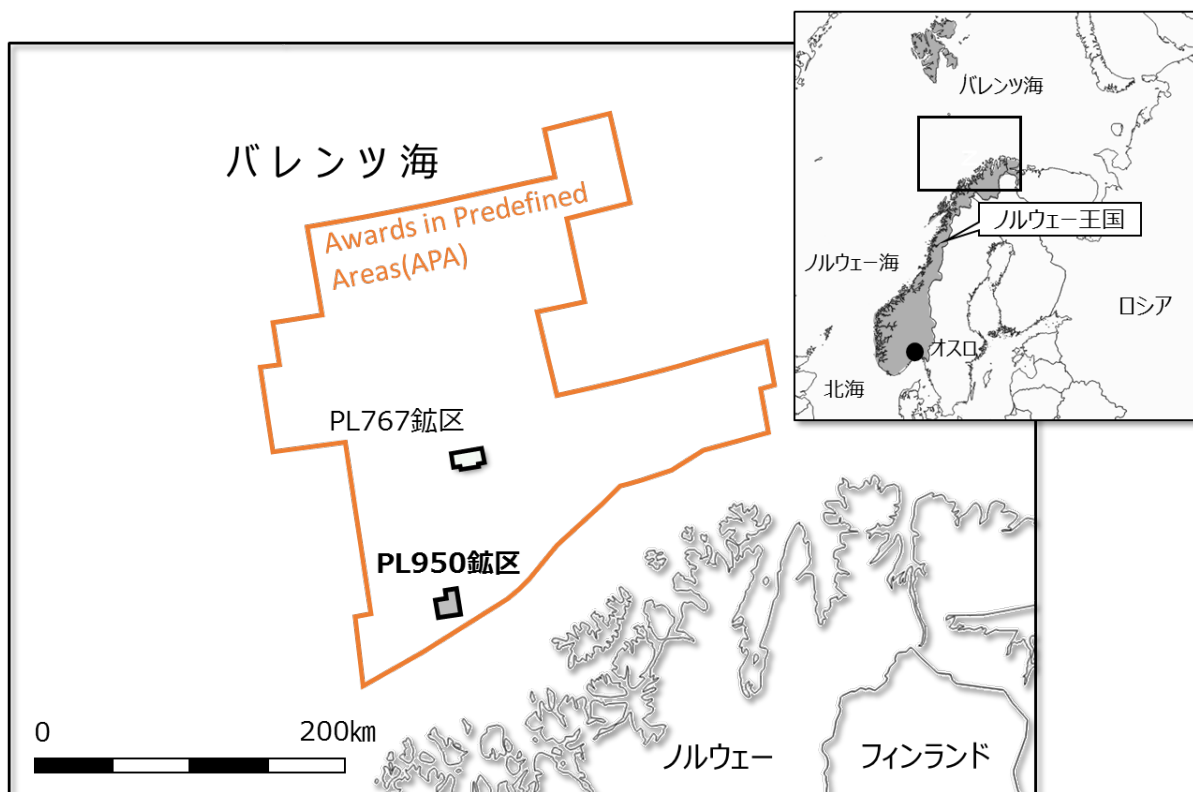
各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏  
電話番号 03-5572-0233

ノルウェー王国 2017 年 APA ラウンドにおける  
バレンツ海西部 PL950 鉱区 (探鉱鉱区) の落札について

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、当社子会社であるインペックス・ノルゲ社 (INPEX Norge AS) を通じて、ノルウェー王国 (以下、同国) が実施した2017年Awards in Predefined Areas (APA)ラウンド (※) に参加し、今般、バレンツ海西部に位置する探鉱鉱区、PL950鉱区を落札しましたので、お知らせいたします。

(※) Awards in Predefined Areas (APA) ラウンドは、過去に探鉱が実施された成熟エリアにおける更なる探鉱活動の促進を目的としたライセンス付与の制度。応札者は領域内で鉱区権益が未設定のオープン鉱区において任意の範囲を指定して応札することが出来る。



PL950 鉱区位置図

# 国際石油開発帝石株式会社

## INPEX CORPORATION

本探鉱区の落札は、昨年インペックス・ノルゲ社が取得したPL767鉱区に続いて、同国において当社グループが参画する2つ目の探鉱プロジェクトとなり、当社の事業ポートフォリオの更なる拡充に資することが期待されます。当社は今後、ノルウェー政府、オペレーターであるLundin Norway社（Lundin Petroleum社の子会社）及びパートナーであるPetoro社との必要な手続きを経て、探鉱作業を通じ、石油・天然ガスの胚胎の可能性を調査してまいります。

本鉱区は、ノルウェー領バレンツ海西部沖合約70キロメートル（水深130～200メートル）に位置し、鉱区面積は約190平方キロメートルです。本鉱区では、Lundin Norway社が50%、Petoro社が20%、当社が30%の権益比率を保有します。

同国では、ノルウェー領北海域を中心に、1960年代より石油・天然ガスの探鉱活動が開始され、多数の大型油ガス田が発見されました。その後、探鉱活動地域は北海より北方に位置するノルウェー海やバレンツ海にまで広がっています。バレンツ海は、数億バレル規模の油ガス田の発見が近年相次ぐなど、更なる油ガス田発見の可能性のある有望なエリアです。当社としても、2014年に設立したインペックス・ノルゲ社を通じ、今後も同国において本格的に石油・天然ガス探鉱開発事業に取り組んでまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響は、軽微です。

以上

### <PL950 鉱区の概要>

鉱区名	PL950 鉱区
鉱区位置	バレンツ海西部
鉱区面積	約 190 平方キロメートル
水深	130～200 メートル
パートナー及び権益比率	Lundin Petroleum 社（オペレーター）： 50% 当社： 30% Petoro 社： 20%